

独立行政法人国立美術館の平成27年度業務実績に関する評価結果を踏まえた運営業務の改善等への反映状況

中期計画項目	平成27年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘を踏まえた平成28年度の改善の状況
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 美術振興の中心的拠点としての多彩な活動の展開</p> <p>(1) 展覧会への取組</p>	<p>引き続き、<u>入館者の確保に向けた継続的な運営の改善に取り組むことが望まれる。</u></p>	<p>9月より所蔵作品展の夜間開館（20時まで）を従来の金曜日に加えて土曜日にも実施し、東京国立近代美術館では「美術館の春まつり」（2017年3月25日～4月9日）期間中の金土曜日には21時まで開館し、国立西洋美術館では土曜日の夜間開館時間帯の常設展観覧料を無料とするなど各館様々な取組で広報にも努めた。</p> <p>国立西洋美術館では、本館の世界文化遺産登録の効果により所蔵作品展の入館者が著しく増加したが、一過性の盛り上がりで終わらせず、より美術館への関心を高め更にリピーターへとつなげることが重要であることから、テーマ展示や解説の充実など、世界遺産登録のタイミングに合わせてル・コルビュジェについてわかりやすく解説する展示や国立西洋美術館本館そのものを建築作品として楽しめるツアーを充実するなど積極的に取り組んだ。</p>
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 美術振興の中心的拠点としての多彩な活動の展開</p> <p>(6) 観覧環境の提供</p>	<p>観覧環境の改善に向けた取組については、<u>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、引き続き、着実に実施することが望まれる。</u></p>	<p>年度末より所蔵作品展の章解説、作品キャプション表記、および音声ガイドの多言語化（従来の和英に中韓を追加）を実現するなど、法人全体で展覧会における多言語化の強化に努めた。</p>

中期計画項目	平成27年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘を踏まえた平成28年度の改善の状況
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2. 我が国の近・現代美術及び海外の美術を体系的・通史的に提示しうるナショナルコレクションの形成・継承</p> <p>(2) 収蔵品の保管・管理</p>	<p>保管環境の整備等については、<u>ナショナルセンターとしての機能を損なうことがないよう</u>、引き続き、<u>一層の改善に取り組む必要がある</u>。</p>	<p>収蔵品の保管・管理については、ほとんどの館において収納が限界に達している状況が続いているが、その状況下で国立美術館としてできることを着実に実施し、作品の安全保管に努めた。東京国立近代美術館工芸館および京都国立近代美術館は民間倉庫の利用を開始し、収蔵庫の狭隘化の低減を図った。</p>